

点検表記録様式 (1) ロックシェッド・スノーシェッド

注1: 施設IDは、起点の位置情報(緯度・経度)によるものとする。なお、IDの取得については、〇〇〇〇の記入例を参照すること。
 注2: 各道路管理者にて、既に独自のシェッドNo.等を併記する。
 注3: 経度・緯度については、0.1" 単位まで記入することとする。
 なお、位置情報(緯度・経度)の取得については、トータルステーション、ポータブルGPS等の機器のほか、携帯電話及びスマートフォン

点検調書(その1) シェッドの諸元と総合検査結果			
施設ID	93690119		
フリガナ 施設名	〇〇ロックシェッド 〇〇ロックシェッド		
所在地	自	〇〇県〇〇市金谷	位置情報 (世界測地系)
	至	〇〇県〇〇市金谷	
距離標	起点	緯度 35° 9' 33.8" 経度 139° 49' 8.9"	距離標
	終点	緯度 35° 9' 34.5.0" 経度 139° 50' 00.0"	

路線名	一般国道〇〇号(現道)		管轄	〇〇地方整備局	施設No.	10
自	23.7 km +	00m	管轄	〇〇国道事務所	調書更新年月日	2014年1月20日
至	23.7 km +	96m				

路線情報	道路規格	3 種 1 級	設計速度	80 km/h	
	調査年	2012 年	区間番号		
	交通量	昼間12時間	18,000	台	
	大型車混入率		36	%	
	荷重制限		-	t	
	緊急輸送道路の指定		有		
	優先確保ルートの指定		有		
構造諸元共通情報	事前通行規制・迂回路	無	有		
	融雪剤等散布区間				
	施設機能/種別	ロック	シェッド		
	延長/ブロック数	96.00 m	8 ブロック		
	内空断面	全幅員/車道幅員	8.50 m	7.00 m	
		有効高/建築限界	4.70 m	4.90 m	
	上部工	使用材料/形式	PC製	逆L型	
維持管理情報	頂版形式/勾配	T形断面PC梁	2	%	
	下部工	山側 躯体/基礎	逆T型連続	直接	
		谷側 躯体/基礎	逆T型連続	海岸擁壁	
	緩衝材	種類/厚さ/面積	砂	0.9 m	768 m ²
	飛散防止材	種類/厚さ/面積	砂利	0.2 m	768 m ²
	照明	種類/灯数	無		カ所
	海岸からの距離	10			m
谷側条件	海岸・消波ブロック有				

道路線形	縦断勾配	2 %		
	横断勾配	1.5 %		
	曲線半径	半径 200 m	区間長 500 m	
	供用開始日	2003年度	2003年12月28日	
	適用設計基準	上部工	落石対策便覧(H12.6)	
		下部工	落石対策便覧(H12.6)	
	落石荷重(落石重量/落下高/衝撃力)	10 kN	30 m	鉛直Pv 2000 kN/個
設計条件情報	積雪荷重	-	kN/m ³ 積雪深 - m	
	雪崩荷重	鉛直 -	kN/m ³ 水平 - kN/m ³	
	雪崩衝撃荷重	鉛直 -	kN/m ³ 水平 - kN/m ³	
	地震荷重(水平震度)	0.16		
	デブリ荷重	-	kN/m ³	
	その他荷重	-	kN/m ³	
	斜面状況	斜面長/形状/勾配	50 m	45°
維持管理情報	浮石の状況	無し		
	斜面地表状況	凹凸中~大, 立木あり		
	地質地盤の状況	一部流出あり		
	鋼部材	防食工法/塗装系	溶融亜鉛メッキ	HDZ35
	防食	塗装面積	9.4 m ² (高欄含む全塗装面積)	
	RC-PC部材	セメント種類/W/C	下部RC	BB 55 % 上部PC H 30 %
	PC部材	鋼材/PC or PRC	主梁	PC鋼より線 PRC 柱 アンボンドPC鋼棒
占用物件	名称:	管理者:	更新年次:	

総合検査結果	異常なし
災害履歴の有無	無
最新の補修履歴	2007年10月
点検履歴	2005年〇月〇日 総合的な評価 II 2010年〇月〇日 総合的な評価 I
補修履歴	2006年〇月〇日 山側受台の壁面剥離箇所のモルタル補修 2007年〇月〇日 海側梁部のひび割れ箇所補修
備考	備考
防災点検	2006年〇月〇日 背後斜面, 点検結果異常なし



位置図

ブロック番号図

ブロック番号	1	2	3	4	5	6	7	8
--------	---	---	---	---	---	---	---	---

起点側 終点側

道路台帳番号	図面番号	区間順序番号
事業種別	道路防災対策	
設計者	〇〇コンサルタント(株)	
施工者(上部工)	〇〇建設(株)/〇〇コンクリート工業	
施工者(下部工)	〇〇建設(株)	
マイクロフィルム番号		

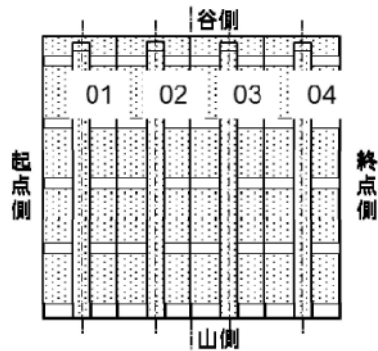
健全度の判定 (総合評価)	III	所見	ブロック1の下部工(海岸擁壁)のコンクリート部材の摩耗・減厚, 上部構造(主梁)および支承部(谷側柱基部)のコンクリート部材にさび汁・遊離石灰を伴うひび割れ等の変状が進行しており, シェッドの構造安全性に影響する可能性が高い状態にある。
------------------	-----	----	--

点検調書 (その2) 部材番号図	ブロック番号	1
------------------	--------	---

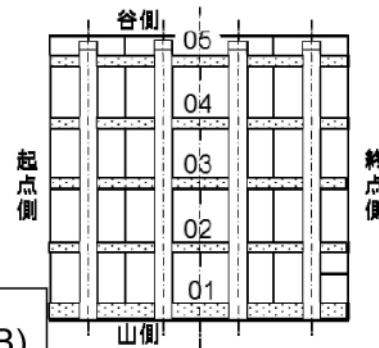
施設 ID	93690119	路線名	一般国道〇〇〇号 (現道)	管轄	〇〇地方整備局	施設 No.	10
フリガナ	〇〇ロックシェッド	施設名	〇〇ロックシェッド				

部
材
番
号
図

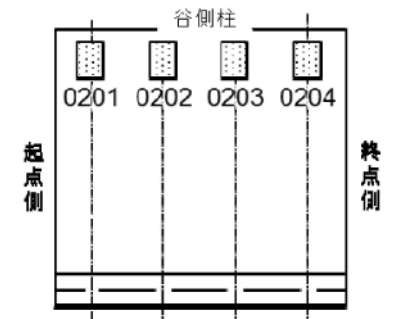
主梁(Mg)



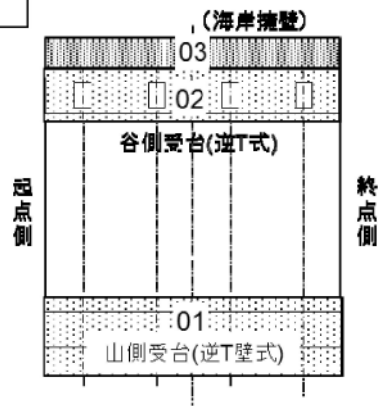
横梁(Cr)



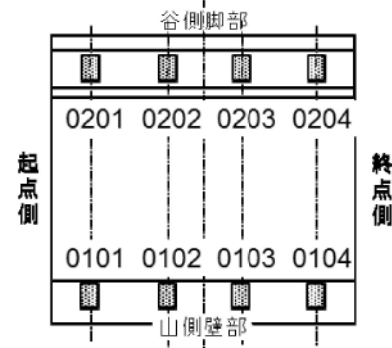
谷側柱(Co)



下部構造(SB)



支承(B)



点検調査（その3） 判定区分判定結果

施設 ID	93690119	ブロック 番号	1
フリガナ	〇〇ロックシェット		
施設名	〇〇ロックシェット	路線名	一般国道〇〇〇号（現道）
		管 轄	〇〇地方整備局
		施設 No.	10

工種	材料	部材種別				判定区分			備考
		名称	記号	部材番号	区分Ⅰの変状	区分Ⅱの変状	区分Ⅲの変状	区分Ⅳの変状	
SP	C	主梁	Mg	02.03					路上に落下する恐れのある浮きは確認できない。
SP	C	横梁	Cr	02	コンクリート部材に剥離が生じている。				剥離は2012年9月に発生したものであり、進展はみられない。
SP	C	谷側柱	Co	0204		PC鋼材に沿ったひび割れが生じている。			ひび割れ幅は0.1mm未満程度。さび汁・遊離石灰の発生は見られない。
SP	X	目地部				PCシェット頂版の目地部からわずかに黒水が生じている。			さび汁・遊離石灰の発生、緩衝材の流出は見られない。
SB	C	山側受台		01					
SB	C	海岸擁壁		03					前回点検時点より、変状が若干進行している。
B		山側管座部							
B		谷側柱基部							
E		排水工			谷側柱に設置された排水管が破損している。				近傍のコンクリートに変状はみられない。（維持補修の範囲で対応？）
E		緩衝材上			設計で想定した大きさ以下の落石が法尻（藝込め土工）にある。				前回点検より変化はみられない。



点検調査（その4） 状況写真

施設 ID	93690119	ブロック番号	1
-------	----------	--------	---

フリガナ	〇〇プロジェクト	路線名	一般国道〇〇〇号（国道）
施設名	〇〇ロックシェッド	管轄	〇〇地方整備局

施設 No.	10
--------	----

上部構造 (SP)	下部構造 (SB)
 <p>Cr03 Mg02 Mg03 Co 0204</p>	 <p>SB01 SB02 SB03</p>

支承部 (B)	その他 (E)
 <p>B0204 SB01 B0203</p>	 <p>B0201 法尻・裏込土上</p>

点検調書 (その2) 部材番号図

施設 ID	ブロック番号		施設 No.
フリガナ 施設名	路線名	管轄	

部 材 番 号 図			